

# 高品質温州みかん生産指針

月	1~3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
生	発芽期			開花期			春梢自己摘心			1次生理落果			2次生理落果			果実肥大期			着色期									
育	生理・形態的花芽分化期									発根盛期			果汁集積開始						生理花芽分化期									
目標品質																												
ストレス付与																												

		8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日
糖	極早生	7.0以上	8.8以上	10.0以上		
	早生		9.0以上	9.7以上	11.0以上	
	普通		8.5以上	9.1以上	10.0以上	11.0以上
酸	極早生	3.0以下	1.7以下	1.1以下		
	早生		2.8以下	1.6以下	1.0以下	
	普通		3.2以下	2.1以下	1.2以下	1.0以下

L・M・S果生産の目安(mm)				
	8月1日	8月15日	9月1日	9月15日
ゆら早生	40~45	45~53	48~56	-
極早生	34~46	40~53	46~59	-
早生	-	37~49	42~55	48~61
普通	-	32~44	38~51	43~57

果実品質の向上には樹体へのストレス付与が関係しています。

○着果ストレス・・・樹上に果実を着果させることで付与されるストレスです。7月下旬から8月中旬頃までは着果負担をかけ、仕上げ摘果や樹上選果で適正葉果比に近づけ、収穫直前まで着果負担を掛けます。

○水分ストレス・・・乾燥状態になることで付与されるストレスです。マルチ敷設による水分管理で、樹へ与えるストレスの強さ・時期を調整します。

節水期(初期糖度向上)      水戻し期(減酸促進)      節水期(後期糖度向上)

着果負担、フィガロン散布でストレス付与(満開後50~110日頃)

マルチによる乾燥ストレスの付与(果実肥大が緩慢化する恐れがあるので過乾燥に注意)

摘果・かん水(水戻し)による減酸促進(満開後100~130日頃)      葉の退色、萎れ、果実肥大緩慢でかん水

## 新たな和歌山県域統一ブランドを設定しました!

JAグループ和歌山では、昭和58年から和歌山県域統一ブランドとして「味ーみかん」(糖度12度以上)を設定し、県産みかんのブランドイメージ向上に取り組んできました。

しかし近年は、全国の主な柑橘産地で光センサーを活用した糖度12度以上の個性化商材が多数出荷されており、他産地との差別化が難しい状況となっています。

そこで、更なるブランドイメージと生産者所得向上のため、「味ーみかん」の集出荷基準を見直し、より高品質な個性化商材「味ープレミアム」「味ー極」の2銘柄を令和6年度から新たに設定しました!

生産者の皆様、新しい和歌山県域統一ブランドの生産に取り組む、日本一のみかん産地をさらに盛り上げていきましょう!

【新たな和歌山県域統一ブランド】

「味ープレミアム」(糖度13度以上)

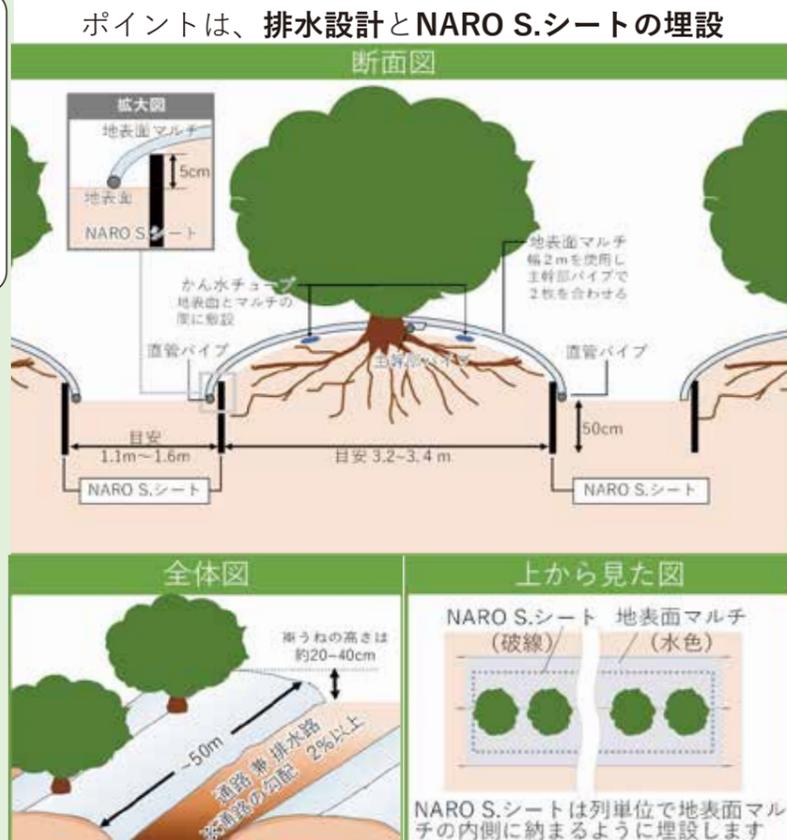
「味ー極(きわみ)」(糖度15度以上)

新ブランド基準		
	「味ープレミアム」	「味ー極」
①品種	早生みかん 普通みかん	早生みかん 普通みかん
②出荷時期	11月以降	11月以降
③着色	完全着色	完全着色
④糖度	13度以上	15度以上
⑤酸含量	0.8~1.0%	0.9~1.2%
⑥等級	赤秀・青秀	赤秀
⑦階級	2L~2S	L~2S
⑧出荷形態	5kgDBを基本とする	手詰・化粧箱を基本とする
⑨その他	園地登録・食味検査あり	園地登録・食味検査あり

※現行の「味ーゆら」(糖度12度以上、酸含量1.1%以下)は、継続します。



## シールドイング・マルチ敷設による品質向上の推進



## S.マルチが果実品質・収穫量に及ぼす影響

